

**開講日** 2016年(平成28)4月～7月・9月～12月 / 毎月第3土曜日 13:30～15:00

**受講料** 全8回受講：¥7,000 および会員登録費 ¥500 / 各回受講 ¥1,500

**受講申込受付期間** 全8回一括：2016年1月11日(月)～3月31日(木)  
各回：講座の前月末 詳しくは事務局までお問い合わせください。

**定員** 100名

バブル崩壊から「失われた20年」を経て 私たちの暮らす社会は 命や大きな転機を迎えています。  
これまで、人々のまちやくらしはどのように変貌を遂げてきたのでしょうか。

2016年度の公開講座では、大手前大学の教員8名が多彩な分野から身近な地域や社会の出来事を取り上げます。  
是非、皆様とともに、暮らしの周りを見渡し、今一度思いを馳せる機会にしたいと思えます。

なお、全8回お申込の方は【大手前公開講座友の会】会員として、ささやかながらご優待を予定しています。  
会員登録費は500円です。但し、これまで受講され会員番号をお持ちの方は2016年度も全8回の受講をお申込の場合に限り会員登録費を無料とさせていただきます。引き続きの受講をお待ち申し上げます。

多くの皆さまに受講いただけるよう、各回の申込も受け付けています。

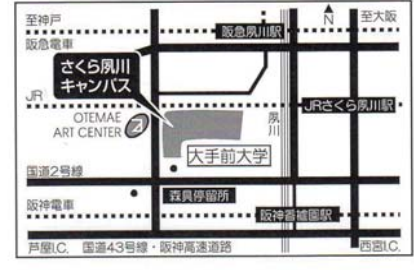
## 申込方法

- ①受講申込用紙に記入し、ファックスで公開講座係(0798-32-5147)へ送信してください。  
受講申込用紙に記入して切り取り、公開講座係へ郵送してください。  
・本学 Web サイト <http://www.otemae.ac.jp/campuslife/lecture.html>  
またはQRコード「公開講座」の「2016年度公開講座受講申込フォーム」  
で必要事項を入力して送信してください。  
※申込が定員に達した場合は受付を終了いたします。  
※ご記入いただいた個人情報は、大手前学園プライバシーポリシー  
<http://www.otemae.ac.jp/about/activity/#activity01> に則り  
公開講座の手続き、資料や案内の送付および関連情報のお知らせにのみ使用いたします。
- ②公開講座係から折り返し、「受講料振込」についてファックス・郵便・メールの  
いずれかでお知らせします。最寄りの郵便局から受講料をお振込ください。  
※キャンセルする場合は受講料振込の前に公開講座係までご連絡をお願いします。  
ご入金後には、理由のいかんによらず受講料の返金をいたしかねます。あらかじめご了承ください。
- ③ご入金を確認後、受講票を送ります。公開講座出席時に受付でお示しください。



申込サイト

## 会場



■交通案内  
JR さくら夙川駅から徒歩7分  
阪急夙川駅から徒歩7分  
阪神香櫛園駅から徒歩7分  
阪神バス森具停留所から徒歩2分  
駐車スペースはありません。

事務局 大手前大学・大手前短期大学 就業力支援・社会連携室 公開講座係  
〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42 TEL 0798-32-7532 FAX 0798-32-5147

## 受講申込用紙

「大手前大学・大手前短期大学 就業力支援・社会連携室 公開講座係」宛  
2016年度 大手前大学公開講座「ひとまちくらし～地域再考～」受講希望

全8回      各回  4月の講座  5月の講座  6月の講座  7月の講座  
 9月の講座  10月の講座  11月の講座  12月の講座

お名前： \_\_\_\_\_ 受講番号： \_\_\_\_\_  
ご住所：〒 \_\_\_\_\_  
メール： \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_  
(生年(西暦) \_\_\_\_\_ 年生まれ) 男性・女性  
TEL： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_


●本学公開講座は何でお知りになりましたか。

■個人情報大手前学園プライバシーポリシーに則して取り計らうことに  同意します・  同意しません


# WEEKEND COLLEGE

## ひとまちくらし～地域再考～

**4月**  
「人と動物のきずな」の心理学  
現代社会学部  
中島 由佳



**5月**  
9～10世紀の敦煌地域社会  
総合文化学部  
山口 正晃



**6月**  
占領下西宮の接収住宅・接収施設について  
メディア芸術学部  
玉田 浩之



**7月**  
地方消滅と地方創生～その現場から考える～  
メディア芸術学部  
谷村 要



**9月**  
地震のリスクマネジメント  
総合文化学部  
貝柄 徹




**10月**  
地域を活性化するには  
～神戸の洋菓子からの視点より～  
総合文化学部  
森元 伸枝




**11月**  
なぜ関西弁は  
ひとびとを魅了するのか？  
総合文化学部  
鈴木 基伸



**12月**  
表情のない人、豊かな人  
～アニメーションで描く顔の話～  
メディア芸術学部  
和田 淳



**会場** 大手前大学 さくら夙川キャンパス  
大手前アートセンター



QRコード  
駅構内及び車内での  
「携帯電話のご利用マナー」に  
ご協力ください。



各回のテーマならびに内容は、都合により若干の変更が生ずることもあります。ご了承ください。

**開講日** 2016年(平成28)4月～7月・9月～12月 / 毎月第3土曜日 13:30～15:00

**受講料** 全8回受講：¥7,000 および会員登録費 ¥500 / 各回受講 ¥1,500

**受講申込受付期間** 全8回一括：2016年1月11日(月)～3月31日(木)  
各回：講座の前月末 詳しくは事務局までお問い合わせください。

**定員** 100名

お問合せ：事務局：大手前大学・大手前短期大学  
就業力支援・社会連携室 公開講座係  
〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42  
TEL 0798-32-7532 FAX 0798-32-5147

# 「ひと まち 暮らし～地域再考～」

本学教員 多彩な 8 人リレー講座

## 第 1 回 (4月 16 日:土) 「人と動物のきずな」の心理学

みなさんは、犬や猫などの動物は好きだろうか？眺めているだけで癒される、そんな方も多いのではないだろうか。でも、動物の存在がたとえば、「重い心臓病から私たちが生還するのを助けてくれる力を持つ」と言ったら信じてくださるだろうか。かわいく、愛おしい動物たち。彼らとの関係は私たちが思っている以上に私たちの心身に影響を与えている。動物ときちんと向き合うことが、私たちになにをもたらしてくれるのか。それを心理学の実証を交えつつ、味わい、学んでいきたいと思う。



現代社会学部  
中島 由佳

## 第 2 回 (5月 21 日:土) 9～10 世紀の敦煌地域社会

中国の西北辺境にある、砂漠の中のオアシス都市・敦煌。中国側から見れば「辺境」に位置するこの都市は、シルクロードから中国へ入る玄関口にあたることから、中国本土とは様相の異なる、独特の文化を花開かせてきました。今から百年余り前、ここから大量の古写本が偶然発見されました。いわゆる「敦煌文献」です。本講座では、主にこの敦煌文献を用いて、9～10 世紀の敦煌で暮らしていた一般の人々の生活について見てゆきたいと思います。



総合文化学部  
山口 正晃

## 第 3 回 (6月 18 日:土) 占領下西宮の接收住宅・接收施設について

終戦後、日本は連合国軍 (GHQ) の占領下におかれ、住宅、ホテル、オフィスビル、工場、娯楽施設、そして水道などのインフラ設備に至るまで、様々な土地建物が接收されました。被占領という経験は、外国の思想や文化に直接触れる機会を提供し、都市空間に大きなインパクトを与えました。

本講座では、占領下西宮の都市・建築の様子を振り返りながら、戦後復興までの歩みについて考えます。



メディア・芸術学部  
玉田 浩之

## 第 4 回 (7月 16 日:土) 地方消滅と地方創生～その現場から考える～

少子高齢化と人口減少の進展の結果、日本のいくつもの地方都市がいづれなくなってしまうという地方消滅シナリオが 2014 年以降取りざたされるようになりました。

その対応策として「地方創生」が重要な政策キーワードとして用いられています。この講座では、地方消滅に直面する中で「地方創生」に取り組む京丹後市の取り組みなどを事例に、地域社会の今後について考えていきます。



メディア・芸術学部  
谷村 要

## 第 5 回 (9月 17 日:土) 地震のリスクマネジメント

東海地震、東南海地震、南海地震の可能性が指摘されて久しい。日本において「地震」の災禍から完全に逃れることは難しいですが、その特徴を知ることによって減災することは可能でしょう。また過去の教訓を活かすことが我々への課題でもあります。

地震の簡単なメカニズムからその対応について考察してゆきます。



総合文化学部  
貝柄 徹

## 第 6 回 (10月 15 日:土) 地域を活性化するには～神戸の洋菓子からの視点より～

神戸の洋菓子は、明治の開港とともに神戸に流入した西欧菓子が、阪神間に居を構えた人々により育まれ、独自の洋菓子文化を形成してきました。その洋菓子文化は雑誌やメディアに多く取り上げられ、こんにちでは神戸という地域を活性化する産業としての役割を担っています。

地域を活性化するにはどういったことなのか。神戸の洋菓子業界の仕組みを見ながら、消費者である私たちの役割について考察します。



総合文化学部  
森元 伸枝

## 第 7 回 (11月 19 日:土) なぜ関西弁はひとびとを魅了するのか？

現在、テレビやラジオなどで関西弁を耳にしない日は無いといってよいほど関西弁は全国的に広まっており、認知されています。また「とても」を表す「めっちゃ」などは非関西圏においても広く使用されているといえ、関西弁の影響力の大きさには目を見張るものがあります。数多くある方言の中で、なぜ関西弁だけがこれほどの影響力を持つようになったのでしょうか。本講座では関西弁のしくみについて解説しつつ、「関西弁の魅力」をテーマにお話しします。



総合文化学部  
鈴木 基伸

## 第 8 回 (12月 17 日:土) 表情のない人、豊かな人～アニメーションで描く顔の話～

アニメーションで描かれる人の顔の表情、特に表情のない顔に焦点をあてその効果などを考察します。

これまでつくられてきたアニメーション作品だけでなく、絵画・彫刻作品なども紹介しながら、表情のない顔と作品の豊かさの関係についてお話できればと思います。



メディア・芸術学部  
和田 淳